【パリ旅行】レストランでの席選びと注文の仕方



こんにちは、パリジャーナルのSakurakoです。

パリ旅行【レストランでの席選びと注文の仕方】の動画のテキスト教材です。動画と一緒にご覧ください。

日本人女性のお客さん、山田さんと、フランス人のマリーさん、そしてウエーターさんの
3人の会話となっています。

予約ありでレストランに入るとき

★予約ありの場合

Bonjourは最初に言いますが、ここでウエーターさんが男性でも必ずしもMonsieurを付けなくても
OKです。付けなくとも丁寧な言い方をみていきましょう。

お客1:
「Bonjour」
「こんにちは」

ウェイター:

「Bonjour」
「こんにちは」
「Avez-vous une réservation ?」
「ご予約しましたか？」

une réservation ＝予約

お客 1:
「Oui」
「はい」

「予約の名前は？」という表現

ウェイター:
「C'est à quel nom ?」
「ご予約のお名前は？」

C'est à quel nom ?が定形文で、何の名前？が直訳で、丸ごと覚えておきましょう。

お客 1:
「**J'ai une réservation au nom de Mme Yamada.**」
「マダム山田の名前で予約をしました」
この時に自分の名前でも、Mmeをつけて言います。

ウェイター:
「Un instant, s'il vous plaît.」
「少々お待ちください」

これで予約されているのがわかると席まで案内してくれます。

★予約なしの場合、

必ずしも予約をするとも限りませんし、歩いていていいなと思ったカフェに入った場合など、あらゆる場面で使えます。

お客 1:
「Bonjour, est-ce que vous avez une table pour deux personnes ?」
「こんにちは、2人席のテーブルはありますか？」

une table pourの pourのあとに人数をいいます。一人ならune personneです。

ウェイター:
「Bonjour, oui bien sûr. Vous préférez une table à l'intérieur ou en terrasse ?」
「こんにちは、もちろんです。店内とテラス、どちらの席がよろしいですか？」

à l'intérieur =中で

en terrasse＝テラスで、

お客1:
「Nous préférons une table en terrasse, s'il vous plaît.」
「テラス席が希望です。」

原形はpréférer ＝○○を好む、○○のほうを好むの意味で、第一群規則動詞（-er動詞）です

ここでも、s'il vous plaîtをつけておくほうがいいです。

ウェイター:
「Très bien, suivez-moi, s'il vous plaît.」
「かしこまりました、こちらへどうぞ。」

suivez-moi＝私についてきてください。

窓際の席を希望する場合

お客1:
Excusez-moi, est-ce possible d'avoir une table à l'intérieur ?」

（すみません、店内の席にしていただくことは可能でしょうか？）

お客1:
「Excusez-moi, pourrions-nous changer pour une table près de la fenêtre ?」
（すみません、窓際の席に移動することは可能でしょうか？）

pourrions-nous＝できますでしょうか、の意味で、「**pouvoir**」の条件法現在の活用動詞で

●動詞「**pouvoir**」の条件法現在の活用●

主語	活用形
je	pourrais
tu	pourrais
il/elle/on	pourrait
nous	pourrions
vous	pourriez
ils/elles	pourraient

「**Excusez-moi, peut-on changer pour une table près de la fenêtre ?**」
簡単には、Peut-on(On peut)でも代用可能です。

ウェイター:
「Oui, bien sûr. Suivez-moi, s'il vous plaît.」
「もちろんです。こちらへどうぞ。」

席に着いた後

ウェイター:

「Voici la carte. Souhaitez-vous un apéritif ?」

「こちらがメニューです。アペリティフをいかがですか』

お客 1:

Deux coupes de champagne, s'il vous plaît
「シャンパンを2杯お願いします。」

シャンパンは、coupeを使い、一杯ならune coupe
2杯なら、deux coupeです。

ウェイターさんがシャンパンを運んできて、

ウエーター:

「**Voici l'amuse-bouche.**」
「こちらがアミューズ・ブーシュです。」

メニューで質問がないかを聞いて、

「Avez-vous des questions ?」
「ご質問はありますか？」

アミューズ・ブーシュは基本的に無料サービスです。
飲み物でビールやワインを注文をするとついてくることがあり、オリーブやポテトチップスが一般的です。カフェではなく、レストランでは、てが凝ったアミューズ・ブーシュがでてきたりで、シャンパンを注文すると通常ついてきます。

お客1:
「Merci beaucoup. Nous allons regarder.」
「ありがとうございます。少し見てみます。」

アペリティフが終わるころを見計らって、料理の注文をウエーターさんがとりにきます。

ウェイター:
「Est-ce que vous avez fait votre choix ?」
「ご注文はお決まりでしょうか？」

「Vous avez choisi ?」
「ご注文はお決まりでしょうか？」

お客 1:

「Je voudrais le menu à 20 euros.」

「20 eurosのメニューにします」

「Je vais prendre le menu à 20 euros avec une entrée et un plat principal, s'il vous plaît.」

「20ユーロのメニューで、前菜とメインディッシュをお願いします。」

「Pour l'entrée, je prendrai un œuf mayonnaise, et pour le plat principal, un filet de bœuf, s'il vous plaît」

「アントレにウフマヨネーズ、メインに 牛フィレをお願いします。」

お肉を注文すると、焼き加減を聞かれ、

レア、ミディアム、ウエルダンのどれかで答えられ、日本人ならレアはほとんど焼かれていなく、肉の血がお皿に見えて、抵抗がるかもしれません。

●焼き加減●

レア:**"saignant"**（セニャン）

- 直訳すると「血のような」という意味で、中心が赤くてほぼ生の状態を指します。

ミディアム:**"à point"**（アポワン）

- 文字通り「ちょうど良い」という意味で、適度に焼けている状態です。日本の「ミディアム」に近い焼き加減。

ウェルダン:**"bien cuit"**（ビヤン・キュイ）

- 直訳は「よく焼けた」で、完全に火が通った状態を指します。

お客 **2**:

「Et moi, je vais prendre le menu à 20 euros avec un plat principal et un dessert, s'il vous plaît.」
「私は、20ユーロのメニューで、メインディッシュとデザートをお願いします。」

「Et pour moi, je prendrai un saumon grillé, s’il vous plaît.」
「私には、グリルサーモンをお願いします。」

このお客2が、メインとデザートを注文しておいて、デザートをなんにするか指定していないのは、メインを食べ終わってからウエーターさんが注文をとりに来るからです。

ウェイター**:**
「Très bien. Et avec cela, souhaitez-vous un verre de vin ou autre chose à boire ?」
「かしこまりました。それと一緒にワインや他のお飲み物はいかがですか？」

お客 1**:**
「Un verre de vin rouge, s’il vous plaît.」
「赤ワインを一杯お願いします。」

お客 **2:**
「Pour moi, un verre de vin blanc, s’il vous plaît.」
「私は白ワインを一杯お願いします。」

ウェイター**:**
「Parfait. Je vais préparer cela tout de suite. Merci beaucoup.」
「承知しました。すぐお持ちします。ありがとうございます。」

料理が運ばれてくる。

ウェイター**:**
「Voilà vos plats. Le filet de bœuf pour vous, et le saumon grillé pour vous.」
「こちらがお料理です。フィレ肉のステーキはお客様に、グリルサーモンはお客様に。」

お客 **1:**
「Merci beaucoup.」
「ありがとうございます。」

ここでも山田さんはウエーターさんへお礼を言っています。

案外とフランスではレストランで、ウエーターさんへお礼を言っています。

お客 **2:**
「Merci. Ça a l’air délicieux.」
「ありがとうございます。とても美味しそうですね。」

動画ではマリーさんは言っていませんが、ここで美味しそうだと言いたい場合は、こんな言い方もできます。

ウェイター:
「Bon appétit ! N'hésitez pas à me demander si vous avez besoin de quelque chose.」
「どうぞごゆっくりお召し上がりください。何か必要なことがあればお申し付けください。」

メイン料理を終わったころに、メニューを持ってきて、

ウェイター:
「**Vous avez bien aimé le plat ?** 」
「お料理はお口に合いましたか？」

デザートはどうですか？と聞いてきます。
ウェイター:
「**Vous désirez un dessert ?** 」
「（デザートはいかがですか？」

お客2:

「 Oui, je prendrai un tiramisu, s'il vous plaît. 」
「（はい、ティラミスをお願いします。」

ウェイター:

「**Voici le tiramisu avec deux cuillères.**」
「こちらがティラミスです。スプーンを2つお付けしています。」

カフェによっては、デザートに2つスプーンをつけてくれることがあります。

ウェイター:

「**Désirez-vous un café ?** 」
「コーヒーはいかがでしょうか？」

他の言い方:

1. **« Voulez-vous un café ? »**
   （コーヒーはいかがですか？）
   - こちらは少しカジュアルな言い方です。

2. **« Prenez-vous un café ? »**
   （コーヒーを召し上がりますか？）
   - 少し丁寧で自然な提案の仕方です。
3. **« Un café, ça vous ferait plaisir ? »**
   （コーヒーはいかがですか？）
   - 丁寧で柔らかい印象を与える表現です。

お客1:

コーヒーは要らないと丁寧に言って、

「 **Non, Merci. L'addition, s'il vous plaît.** 」
「いいえ、結構です。お勘定をお願いします。」

ウェイター:
「 **Voilà l'addition. Ça s'est bien passé ?** 」
「お会計でございます。お食事はいかがでしたか？」

「Merci beaucoup, mesdames. À bientôt !」

「ありがとうございましたメダム。またおちかいうちに」

お客1:
「 Oui, c'était parfait. Merci beaucoup. 」
「はい、とても良かったです。ありがとうございました。」

ここも社交辞令ではないですが、c'était parfait.の言い方もこんなシチュエーションで便利です。

お客2:

「Au revoir,」

さようなら

動画を見ながら、一緒に声を出して発音すると効果的に学習できます。

SakurakoWEB
フラ語スクール
Sakurako